

空き家の有効活用を



栗谷小学校 5年
おかもと のぞみ
岡本 希 議員

質問 ぼくたちの住んでいる栗谷は、自然が豊かでとてもいいところですが、今、空き家が多くて人口が増えていません。栗谷小の児童は8人で友達が少ないのでさみしいです。大竹市や特に栗谷の人口を増やすために、そして、空き家を有効に使うことについて何か考えていますか。

答弁 栗谷は、美しい自然に恵まれています。まずは、自然を楽しみたいと思う人に、一人でも多く、また何度でも栗谷に足を運んでもらい、栗谷に住みたいという気持ちを持ってもらいたいと思います。そして、栗谷に住み続けてもらうためには、近くで収入を得て生活していけたりできるように、地域が元気であることも重要なので、栗谷の農産物を特産品として販売できたら良いのではと思っています。空き家については、持ち主の方と地域の人でしっかり話し合ってもらい、市でお手伝いできることであれば、努力したいと思います。

大竹市では環境問題はありますか



栗谷小学校 5年
はた あおい
波多 葵 議員

質問 私たちはみどりの少年団活動をしています。昨年玖島川の水質検査をしたら、「とてもきれいな水」レベルだと思っていたのに、「少しきれいな水」レベルでした。「少しきれいな水」に住む虫がたくさんいることがわかりました。大竹市では、環境問題はありますか。また環境問題に対してどのように解決しようと思いますか。

答弁 大竹市の環境問題の主なものは、「水環境」と「大気環境」ですが、これらは、その原因となっている人や会社をお願いしたり指導することで解決することができます。また最近の「生活環境」問題の解決については、「私たちの生活を見つめなおし、環境にやさしい生活スタイルに変えていくこと」が大切ですので、今後も広報などで環境問題を取り上げていきます。環境問題は、市民の皆さんと一緒に考え、実行していきたいと思います。

新しいスポーツ施設を



玖波小学校 6年
はやし りのん
林 莉音 議員

質問 私は、小方でバスケットボールを習っています。大会のときなど市外から来たチームに「大竹の施設はいいね」と思ってもらえれば、大竹に来る人も増えるのではないのでしょうか。総合体育館の他に、客席が多く空調の整ったもっと大きいスポーツ施設を造っていただけませんか。

答弁 林議員が言われるような体育館は確かに魅力的ですが、たくさんのお金が必要になるので「すぐに造ります」とは約束ができません。大竹市を「住みたい、住んでよかったと感じるまち」にしていくため、何が重要でいつどのようにやるのが市民の皆さんの幸せにつながるのかを考え、限られたお金の使い道を、市と議会ですっきりと考えていきます。

再質問 総合体育館に空調設備を付けることはできませんか。

答弁 設置するには数億円のお金がかかります。何が大切で必要かを考えてお金を使っていきます。今は設置することは考えておりません。

ボール遊びができる公園に



玖波小学校 6年
やまもと えりな
山本 恵梨奈 議員

質問 私たちがよく遊ぶ公園は、ボール遊びが禁止されているなど、公園内の厳しいルールがあります。公園以外の場所だと、車が多かったりするのでボール遊びはできません。玖波は、小方や大竹に比べて公園が少ないし、ルールも厳しいと思います。思いっきりボール遊びができるような公園を造ってほしいと思います。

答弁 玖波地区には小さな公園が多く、近所の家に迷惑がかかるので、公園にボール遊びの注意書きがあるところもあります。これは、皆が安全に楽しく使うためのルールです。そして、玖波地区には多くの家が建っているので、広い公園を新しく造ることは難しいと思います。しかし、玖波児童公園、恵川児童公園などでは、迷惑がかからないようにルールを守れば、ボール遊びをしても良いと思います。皆がルールを守り、思いやりをもって、楽しく公園を使えることが大切だと思います。

阿多田小の跡地を運動できる場所に



小方小学校 6年
むかい りい
向井 琉偉 議員

質問 ぼくたちが前に通っていた阿多田小学校の跡地には、4月からずっとがれきが放置されています。跡地をスポーツができる場所にできませんか。次に、ぼくたちは学校が終わっても船の便がないため、低学年も17時まで小方小で待っています。もう少し早く帰ったり、来たりすることができるようになりますか。

答弁 阿多田小グラウンドに置いてあるコンクリートなどを取り除く作業は、8月6日の大雨による土砂崩れのため、工事の車が道路を通れなくなり遅れています。しばらく時間がかかると思いますので、もう少し待ってください。次に、船の出る時間を変えることは他のお客さんもいるため難しいと考えています。17時まで待つのは大変でしょうが、教室や児童クラブで友だちと時間を大切に使うことで欲しいと思います。

大竹の自然を守ろう～大膳川～



小方小学校 6年
かじやま るみか
梶山 章香 議員

質問 私を含め、子どもたちがよく遊んでいる大膳川には、ここ最近草が生えて、川の中に陸地ができてしまい、遊ぶところが少なくなっています。今は、地域の人が年に1度だけ掃除をしていますが、川の中には入れないので、土手の草を抜くだけです。このままでは川で遊べなくなるかもしれません。この状態を変えることはできるのでしょうか。

答弁 大膳川は、砂防河川といって、集中豪雨などで洪水になったときに土石流などが流れ出て土砂災害になるのを防ぐための堤防があります。この堤防があると川の流れが緩やかになるのですが砂がたまりやすく、そこに草が生えてしまいます。市としては、堤防が役割を果たし、まちを守ることが最も大切だと考えていますので、遊んだり泳いだりする目的として整備することは残念ながら難しいと考えています。



市制施行60周年職員協働事業

「おおたけっ子みらい議会」 (子ども議会)

問い合わせ 議会事務局 ☎2183

8
24



議員バッジ

未来を担うおおたけの子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政の関わりや、大竹市が直面しているさまざまな課題を考え、市政への関心を深めることを目的として開催しました。当日は、議員バッジを着けた市内8校の小・中・高校生の子も議員17人が、市役所議場で市議会議員さんたちに、自分たちが日ごろ感じている市に関するさまざまな疑問や提案などを、市長や教育長に対して質問をしました。

もっと充実した図書館に



玖波中学校 3年
谷本 光平 議員

質問 私は、よく図書館の学習室を利用するのですが、他の利用者の方のひそひそ話が気になることがあります。集中して学習できるように、個別の机や声の伝わりにくい空間を作ってはもらえませんか。また、中高生が読むような小説などをもっと入れてほしいと思います。

答弁 図書館の学習室は、横幅や奥行きの広い机を使い、仕切りも付けて集中して学習できるようにしていますが、地下にあり地上の音が伝わりにくい静かな空間のため、周りの声が気になることがあるかもしれません。おしゃべりをするなどルールを守れない方には、職員が注意しますので教えてください。また、図書館には、約14万冊の本を保管していますが、スペースの関係で全ての本は置けません。検索機で探せますし、読みたい本は他のまちの図書館から借りたり、購入したりする場合がありますので気軽に相談してみてください。

地域の道路の安全対策を



玖波中学校 2年
藤村 嘉希 議員

質問 玖波中学校正門前の坂道は、車道と歩道の区別がつかないので危ないという声が多くあります。白線がくっきり見えるなどの安全対策をしてください。また、川口歯科の前の通りの道幅は狭いにも関わらず、バス、自転車、歩行者が通っているので私は危険な思いをしたことが何度もあります。バスの走る路線を変更するなどの安全対策をお願いします。

答弁 中学校前の歩道は、道路の幅が広くないため、片側にしか歩行者専用路側帯の白い線を引けません。今後は、学校などとも話し合い、例えば歩道に色を付けるなど、車道と歩道を区別しやすくする方法を考えたいと思います。また、川口歯科前の道路は、こいこいバスのルートを決めるとき、警察とも話し合い、いろいろなことを考慮してルートにしています。すぐにルートを変更することは難しいと思いますが、バスの運転はこれまで以上に安全を心がけていきます。

安心して通える通学路に



小方中学校 3年
菅原 透也 議員

質問 現在、通学路である青木線が土砂崩れのため、人通りや街灯が少ない迂回路を通学しています。土砂崩れ部分の安全はいつ確保されますか。また、青木線から2号線に抜ける地下通路、青木線の黒川方面についても街灯が少なく、登下校の際に危険や不安を感じています。安心して通える通学路の整備をお願いします。

答弁 土砂崩れの部分の安全措置については、崩れた部分斜面のほとんどが市の土地ではないため、持ち主に直してもらうことをお願いしてきました。現在は、斜面を持っている方の応急的な対応で市道として通れるようになっています。本格的な対策工事は、持ち主の方に検討を進めてもらっています。皆さんの不安が解消されるよう、市としてもお願いを続けていきます。街灯については、学校やPTAと話し合い、玖波青木線北側に2か所増設しています。また、迂回路は、街灯や人通りが少ないので、児童生徒の不安を少しでも取り除くため、また防犯面での安全を確保するため、台風シーズンが終わる頃には、元の通学路に戻るのが望ましいのではないかと考えています。



小方中学校 3年
河野 鈴奈 議員

再質問 青木線の土砂崩れ部分については、小方中の生徒だけでなく、市民の皆さんのためにも対応をお願いします。私たち小方中の生徒は普段から地域の皆さんに安全、安心について多くのご協力をいただいています。そのことへの感謝を忘れず、私たちも安全に生活をしていくために自覚を持って行動していきます。最後に大竹に育ったことに誇りを持ち、これからの大竹のまちづくりに貢献できるように、しっかりと勉強に打ち込みたいと思います。

答弁 河野議員の今のお言葉に感激をいたしました。ありがとうございます。

楽しく過ごせる公園に



大竹小学校 6年
寺岡 香苗 議員

質問 私は近くの公園で友だちとよく遊びますが、「公園に時計がないこと」と「公園のトイレが使いにくいこと」の2点が気になります。時計があれば帰宅時間を過ぎてしまうことなく安心して遊べます。そして、公園のトイレ、特にさかえ公園のトイレは怖くて小学生には使いにくい雰囲気があります。子どもが集まり、楽しく過ごせる公園にするため公園設備の充実をお願いします。

答弁 市内には57の公園があるのですが、全部に時計を設置することは難しいので、多くの人々が利用する「さかえ公園」や「晴海臨海公園」には時計を設置するよう考えています。さかえ公園のトイレについては、さかえ公園を使いやすくするため、昨年、市民の皆さんの意見を聞きました。その意見を取り入れ、トイレの改修を含め、公園の改修工事をこれから少しずつしていく予定です。



AEDを24時間使えるように



栗谷小学校 6年
横道 祥平 議員

質問 ぼくたちは、先日、救急講習会に参加し、心肺蘇生法とAEDの使い方などを学びました。でも、栗谷のAEDがある施設は24時間開いていないし、栗谷は救急車が到着するまで20分かかります。その間、AEDが使えないのは問題だと思えます。栗谷町だけでなく、市民の命を守る取り組みについて教えてください。

答弁 栗谷町には5台のAEDがありますが、精密機械のため施設内にあり、24時間は使用できません。使い勝手が良くなる方法を消防本部で考えているところです。市民のための取り組みとしては、救急救命士を育てたり、医師会という団体と協力して救急隊員が病院で研修をしたりしています。また、広島西医療センターと広島総合病院に補助金を出して、命を守る取り組みのお手伝いをしています。これからも、皆さんの安心安全を守るためにいろいろな取り組みをしていきます。

できるかぎりの街灯の整備を



大竹小学校 6年
田坂 菜純 議員

質問 私の学校で「大竹小学校区で生活する上で何か困ったことがありますか」と質問したところ、「白石地区には街灯が少ないため路地が暗く、夕方や夜間の安全面に不安がある」という意見が多くありました。白石地区は小学生が多いし、自転車と車の事故が多いと聞きます。防犯の面、交通安全の面からも、できるかぎり街灯を整備してほしいと思います。

答弁 街灯には2つ種類があり、1つ目は道路や交差点を明るく照らす照明、2つ目は暗いと歩きにくい場所や犯罪が起りそうな場所に設置する防犯灯です。たくさん防犯灯を設置すればそれだけお金もかかります。地域の自治会などで防犯灯を設置する場合、必要なお金の半分以上を市が出すという仕組みもあるので、それを含めて安全な地域を作っていくための方法を白石地区の皆さんで話し合ってくださいと思います。



長時間におよぶ子ども議会、皆さんいかがだったでしょうか。おそらく、このような長時間の会議は学校などではあまり機会がないことでしょう。しかも、これまで顔を合わせることがない人たちの前で、自分の気づきや考えを発表しなくてはならない場面です。皆さんの緊張度メーターは余裕で振り切っていたのではないかと想像します。「上手に話せているかな?」「おじぎはここで良かったか?」

この体験を経験に紡いで

いろいろな思いが次々と脳裏をよぎったのではありませんか?もしかしたら、頭の中が真っ白になってしまった瞬間もあったかも知れませんね。その緊張感をしっかりと乗り越えて、また一つ成長を重ねた皆さんの姿には、私たち大人も大竹がますます素敵に変わっていく勇気を感じました。このたびの体験を、これからの学校や地域での活動や日常の中にしっかりと生かし、市



寺岡 公章 議長

民の一人としての誇りを胸に、ふるさと大竹での生活を長い人生のスタート地点として、伸び伸びと学びを紡いでもらえれば嬉しく思います。最後に、市長に堂々と質問をおつけられた17人の議員の皆さんと、大役を見事に務め上げられた中本議長に対し、心からの感謝と敬意を表します。

大竹高校 2年
 なかもと たくむ
 中本 拓夢 議長



「とても緊張しました。会議中は、礼を忘れないよう心掛けていました。質問をする小中学生たちが堂々として頼もしかったです。」と議長役を見事に務めた中本さん。「さまざまな質問と答弁を聞いて、大竹市のまちづくりに関心をもつことができ、とても良い経験になりました。この経験を今後に生かしていきたいです。」と達成感いっぱいの様子で生き生きと語ってくれました。



工場夜景を市の観光名所に



大竹高等学校 2年
 たけはら たくみ
 竹林 昂星 議員

質問 大竹市は近隣市町に比べ観光客が少ない現状だと思いますが、市の活性化のためには、観光名所を作り出すのが必要ではないでしょうか。私は大竹市の工場の夜景に注目しています。夜景を生かした観光イベント、写真コンテスト、夜景ガイドツアーの開催、夜景クルーズなど、今あるものを有効活用して観光客を呼ぶことはできないでしょうか。

答弁 ご提案の「工場夜景」については、昨年度ポスターを作成し、市内、他市町に配布しています。今のところは、かけるお金と、それによって得られるお金のバランスを考えた上で、高い効果が期待できる新しい取り組みを生み出すことはできていません。しかし、課題はたくさんありますが、今回のいろいろなご提案も参考にしながら、今後どのように「工場夜景」を活用すれば大竹市に多くの人が訪れ、経済に良い効果を生んでいくのかを研究していきます。

安全に道路を通行できるように



大竹高等学校 1年
 なかの まさきよ
 中野 真聖 議員

質問 私は自転車で行動することが多いのですが、晴海グラウンドの周辺の道路や元小方小学校周辺の道路など、市内のいくつかの地点で不便や危険を感じることがあります。市民が自転車や徒歩で不自由なく安全に道路を通行できるようにしたいと思います。大竹市の道路整備についての計画などを教えてください。

答弁 現在、市内の道路は、昔に作られたものを少しずつ直して使っています。また、一本の道路を広げるにもお金と時間、そして多くの人の協力が必要です。普段から道路の状態を把握し、小さな修理を行い、大きな修理が必要な道路については、どの道路を先に修理するかの順番を決めて、計画的に舗装をやり変えるなど、道路を長く大切に使えるよう工夫することが大事だと考えています。自分たちのまちの道路を大切に思う気持ちが、道路を長持ちさせることにつながります。

みんなできれいな街づくりを



大竹中学校 3年
 ほらだ たくみ
 原田 拓実 議員

質問 ぼくたちの学校は学期に一回、OC活動という地域清掃を行っています。ゴミのポイ捨てや雑草など気になることがあります。市が取り組んでいる環境整備に対する取り組み、また私たち市民にできることは何かを教えてください。ぼくたちも「ぼくたちのまちはきれいだ」と胸を張れるよう意識が高くなるような活動を考えていきたいと思っています。

答弁 市は「きれいで快適なまちづくり」のため、毎日、市の職員が監視パトロール車で市内を巡回したり、監視カメラを設置したりしています。その一方で、市民の皆さんや企業が率先して清掃活動を行い、大竹市公衆衛生推進協議会は「花いっぱい運動」を行い、それぞれきれいで快適なまちづくりのための活動をしてくださっています。一人一人が、「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という気持ちを持ち、できることから取り組むことで、よりきれいなまちになると思います。

産業と環境の調和がとれたまちに



大竹中学校 3年
 ふくだ しな
 福田 紗奈 議員

質問 水と空気、これは私たちが生きていくうえでとても大切なものですが、大竹市の状況は、他の地域と比べて、また過去と比べてどうでしょうか。大竹市は産業の発展と自然環境の保全の調和を大切にした環境都市の実現を目指し、挑戦していますが、このことをもっとアピールし、イメージが市民や他の地域の人に強く広がっていくと良いと思います。

答弁 市内の大気中の物質を測定した結果、光化学オキシダントは基準を達成していませんが、これは日本全国と同じ状況であり、二酸化硫黄などその他の物質は基準を達成しています。川や海は、厳しい基準をほぼ達成しています。過去（昭和40年頃）と比べて、大気も水も大きく改善されています。人と産業と自然の共生を目指し、平成22年には大竹市環境基本条例を制定しています。このような取り組みを発信しイメージアップを図っていききたいと思います。